

2023年7月11日

**ウェザーニュースアプリで熱中症対策を促す取り組み
250m メッシュの超高解像度「熱中症レーダー」を6時間先まで無料化
～24時間先までの熱中症リスクを細かく把握できる5段階の色分けマップ～**

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、より多くの人の熱中症対策にお役立ていただけるよう、累計 3500 万ダウンロードのお天気アプリ「ウェザーニュース」(iOS 版、Android 版)で提供している「熱中症レーダー」の6時間先までの予報を無料化したことを本日発表しました。

「熱中症レーダー」は、24時間先までの熱中症リスクを250mメッシュの超高解像度でマップ上に表示するコンテンツです。“注意”から“非常に危険”まで5段階で色分けするので、熱中症リスクをひと目で把握することができます。また、一般的に熱中症危険度のランク分けは全国一律ですが、ウェザーニュースは熱中症患者搬送者数と暑さ指数(WBGT)との関係を分析し、時期・エリアによる熱中症の発生傾向を考慮した独自の熱中症危険度を出しています。

6時間先までどなたでも無料でご覧いただけるので、こまめな水分・塩分補給や適切な冷房の利用などの暑さ対策にご活用ください。

「熱中症レーダー」のご利用はこちらから

「ウェザーニュース」アプリをダウンロード <https://weathernews.jp/app/>

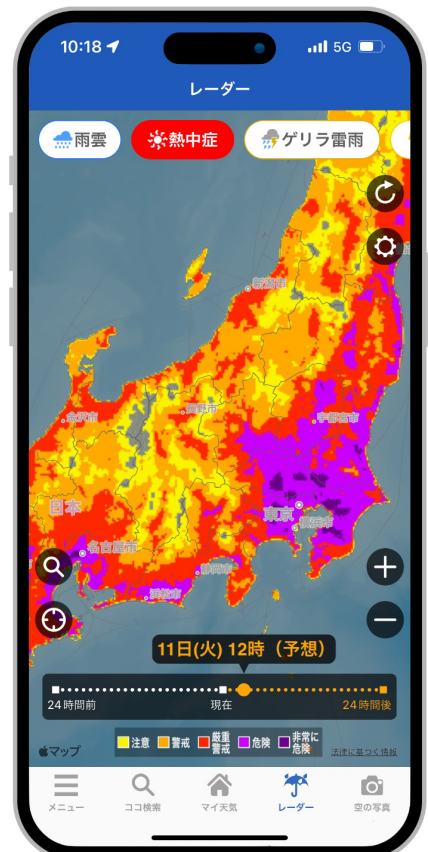
◆250m メッシュの超高解像度「熱中症レーダー」

2020年に提供を開始した「熱中症レーダー」(※1)は、暑さ指数をもとに独自に予測した24時間先までの熱中症危険度を250mメッシュの超高解像度マップで確認することができます。気温が平年より高く(※2)、厳しい猛暑が続いているなか、より多くの人に熱中症対策にご活用いただけるよう、今回6時間先までの予報を無料化しました。

「熱中症レーダー」では、1時間ごとの熱中症リスクをひと目で把握できるよう、“注意”、“警戒”、“嚴重警戒”、“危険”、“非常に危険”の5段階でマップを色分けしています。環境省と気象庁が発表する「熱中症警戒アラート」はおおよそ都道府県単位での発表ですが、「熱中症レーダー」では250mメッシュで非常に細かく確認することができます。最下部の「レーダー」のアイコンをタップし、「熱中症」を選択することでご覧いただけます。マップを拡大/縮小することで、自宅や外出先、勤務先だけでなく、移動ルートの熱中症リスクも簡単に確認できます。

～時期・エリアを考慮した独自の熱中症危険度～

ウェザーニュースでは、過去の熱中症搬送者数とWBGTとの関係を分析した結果からランク分けを独自に設定し、時期やエリアを考慮した新しい熱中症危険度を提供しています。一般的な熱中症情報は、一年中全国一律の基準で



WBGT の値からランク分けしており、時期やエリアによる熱中症の発生傾向の違いは考慮されていません。しかし、同じ気温でも梅雨明け直後のような体が暑さに慣れる前と真夏の暑さに慣れた後、東北と関東など住んでいるエリアの違いによって、熱中症のなりやすさが異なるため、これらの違いを考慮しています。

※1 2020 年 7 月 1 日：熱中症レーダー提供開始 <https://jp.weathernews.com/news/31858/>

※2 2023 年 6 月 20 日：猛暑見解 <https://jp.weathernews.com/news/43678/>

また、2021 年にリニューアルした「ウェザーニュース」アプリの「熱中症情報」では、48 時間先まで 1 時間ごとの熱中症予報と週間熱中症予報を提供しています(※3)。1km メッシュで WBGT を算出し、ユーザーの所在地の熱中症危険度をピンポイントで予報します。「熱中症レーダー」と合わせてご活用ください。

※3 2021 年 6 月 9 日：1km メッシュの熱中症危険度情報をアプリ「ウェザーニュース」で提供開始 <https://jp.weathernews.com/news/36098/>

